

令和5年度 社会福祉法人東御市社会福祉協議会事業報告

3年以上もの長きにわたり、未知のウイルスとの戦いを強いられた新型コロナウイルス感染症も、令和5年5月、5類に移行し、通常の世界活動を取り戻しつつありますが、人と人とのつながりが希薄化し、地域住民の孤立化が懸念されるなど、地域住民の意識や行動の変容に大きな影響を与えました。社会においては、経済の復興・株価の高騰など、景気的好循環化が進む一方で、実質賃金は中々好転せず、生活困窮者も依然多く、日々、社会福祉協議会の窓口で対応している実態があります。

東御市社会福祉協議会では、第4期地域福祉活動計画で示した「人とひとが福祉でつながるまちづくり」～住民一人ひとりが尊重され、誰もが幸せを感じられる地域へ～の基本理念のもと、誰も取り残さない地域共生社会の実現に向けた地域福祉事業を推進しました。多様化・複雑化する住民の生活課題に対して、法人内の総合相談体制の強化・充実化を図りながら、生活福祉資金の貸付事業や自立支援に係る相談支援事業、食料支援事業、子どもの見守り支援事業などに取り組みました。

また、コロナ禍にあつて特例で貸し付けた生活福祉資金の償還については、家計の改善が好転せず、滞納者も大変多く、県社協の委託を受けて、償還指導の体制整備を図ったところです。

令和5年4月から令和6年3月までに取り組んだ主な事業は、次のとおりです。

I. 組織運営の強化・人材育成

1. 法人組織の運営・体制の強化

(1) 理事会 (5回)

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第91回 5.6.6 (火)	13人	<ul style="list-style-type: none"> ・常務理事の選定について ・令和4年度事業報告及び一般会計決算 ・評議員候補者の推薦について ・評議員会の開催について
第92回 5.6.21 (水)	13人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長及び常務理事の選定について ・顧問の委嘱について ・評議員選任・解任委員会委員の選任
第93回 5.9.29 (金)	11人	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部を改正する定款 ・東御市支援対象児童等見守り強化事業の受託について ・東御市子ども第三の居場所運営業務の受託について ・令和5年度一般会計補正予算 (第1号) ・評議員会の開催について
第94回 5.12.8 (金)	11人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度上期事業の概要及び一般会計中間決算の状況について ・令和6年度事業計画について
第95回 6.3.19 (火)	12人	<ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規則の一部を改正する規則 ・職員給与規定の一部を改正する規程 ・居宅介護支援事業所運営規程の全部を改正する規程 ・令和5年度一般会計補正予算 (第2号) ・令和6年度事業計画及び一般会計予算 ・評議員候補者の推薦について ・評議員の開催について

(2) 評議員会 (5回)

回数・開催日	人数	上 程 議 案
第60回 5.5.26 (金)	21人	・理事の選任について
第61回 5.6.21 (水)	19人	・令和4年度事業報告及び一般会計決算 ・理事及び監事の選任
第62回 5.9.29 (金)	14人	・定款の一部を改正する定款 ・東御市支援対象児童等見守り強化事業の受託について ・東御市子ども第三の居場所運営業務の受託について ・令和5年度一般会計補正予算 (第1号)
第63回 6.2.26 (月)	21人	・理事の選任について
第64回 6.3.26 (火)	19人	・令和5年度一般会計補正予算 (第2号) ・令和6年度事業計画及び一般会計予算

(3) 監 査

○税理士による会計指導

決算 令和5年5月11日 (木) 中間 令和5年11月10日 (金)

○監事による監査

決算監査 令和5年5月22日 (月) 中間監査 令和5年11月17日 (金)

(4) 支部長会

- ・期 日 令和5年7月10日 (月)
- ・場 所 総合福祉センター 3階 講堂
- ・参加者 60人
- ・内 容
 - ① 令和5年度 社会福祉協議会の会費募集について
 - ② 令和5年度 赤い羽根共同募金の取り組みについて



<支部長会議>

(5) 法人内の連携

- ・各種プロジェクト (広報・福利厚生) の設置・推進
- ・グループウェアの導入で、情報共有を図る

2. 自主財源の確保

(1) 社会福祉協議会への寄付

ア. 金銭の寄付

個人 13人	11団体	総額 1,788,734円
--------	------	---------------

イ. ウェス

個人 2人	1団体	合計 5件
-------	-----	-------

ウ. 物品の寄付

個人 15人	4団体	合計 33件
--------	-----	--------

介護用品		一般物品	
ポータブルトイレ 3台	車椅子 4台	肌着類	雑巾
シャワーチェア 1台	歩行器 1台	はがき	切手
介護用ベッド 2台	尿取りパット	タオル	古タオル
介護用テーブル 1台	リハビリパンツ	毛布	ティッシュ
		猫のえさ	トイレトペーパー

(2) 社協会員の加入状況と会費の収納

年度	会員区分	一般会員	賛助会員	法人会員	合計
令和5年 実績	人数	5,794人	600人	164法人	
	金額	5,793,500円	1,210,000円	1,530,000円	8,533,500円
令和4年 実績	人数	6,076人	665人	164法人	
	金額	6,072,000円	1,332,000円	1,525,000円	8,929,000円

3. 研修事業・人材育成

(1) 役員研修

① 生活困窮者支援推進セミナー（社会福祉法人トップセミナー併催）

- ・期 日 令和6年2月4日（日）
- ・場 所 ホテル国際21（長野市） 5人出席
- ・対談

「みんなで生活困窮者支援のこれからを語る」

長野県知事 阿部 守一 氏

内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局統括事務局長 山崎 史郎 氏

- ・講演

「生活困窮者自立支援制度、これまでとこれからの10年」

内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局統括事務局長 山崎 史郎 氏

(2) 職員研修

① 外部研修

安全運転管理者研修会、日常生活自立支援事業推進会議、福祉教育実践研修、生活福祉資金担当者会議、権利擁護推進セミナー、地域づくり推進研修、信州パーソナル・サポート事業支援員研修会（県実施）【初任者研修】、

【長野県&千葉県 生活困窮者自立支援実務者ミーティング】【相談支援員養成研修】

第9回生活困窮者自立支援全国研究交流大会、上小地域医療・介護連携推進研究会、災害ボランティアセンター運営支援者研修会、ボッチャ競技C級審判員養成講習会、男女共同参画の視点による災害対応研修、ひきこもり支援フォーラム、第1～3回ひきこもり支援実践研究会、地域共生推進セミナー、生活困窮者支援推進セミナー・長野、苦情対応システム研修会、権利擁護推進セミナー

② 上小ブロック役職員研修

- ・期 日 令和6年3月5日(火)
- ・場 所 東御市中央公民館 3階 講堂
- ・参加者 55人
- ・内 容 交流会
ボッチャ
「ユニバーサルスポーツを体験しよう」
研修会・グループワーク
「地域共生社会における、これからの社会福祉協議会を考える」
講師 香川県琴平町社会福祉協議会 会長 越智 和子 氏



<上小ブロック役職員研修会>

(3) 実習生の受入

社会福祉士資格取得のためのソーシャルワーク実習

- 長野大学3年 3人(夏季 令和5年8月16日~9月16日 25日間)
- 長野大学2年 4人(春季 令和6年2月16日~2月28日 8日間)
- 佐久大学2年 2人(春季 令和6年2月16日~2月28日 8日間)

(4) 職員の講師・委員等の派遣

○委員等

- 全社協 地域福祉推進委員会 「社協における生活困窮自立支援の在り方検討委員会」
委員 1人 (オンライン)
- 東御清翔高校 学校評議員 1人

○講師・コーディネーター等

- 長野県社協 「人と動物のふくし研究会~OneWelfare プロジェクト~」
 - ・令和5年4月18日(火)
- 日本地域福祉学会 地域福祉優秀実践賞受賞式、実践報告
 - ・令和5年6月11日(日)
- 東御市工業振興会 第44回総会 講演会 講師
 - ・令和5年7月5日(水)
- 長野県社協 「長野県パーソナル・サポート事業 テーマ別研修【外国人支援編】」
コーディネーター
 - ・令和5年7月11日(火)
- 長野県社協 「地域まいさぼ支援員連絡会議 外国人支援編」コーディネーター
 - ・令和5年10月12日(木)・23日(月)・31日(火)
- 令和5年度長野大学相談援助実習指導I講義 1人
 - ・令和5年10月17日(火)
- 全国公的扶助研究セミナー
「生活困窮者自立支援制度 生活就労支援センター“まいさぼ”がめざすもの」講師
 - ・令和5年11月11日(土)
- 山梨県 「令和5年度第2回生活困窮者自立支援人材養成研修会」 講師
 - ・令和5年11月24日(金)(オンライン)
- 長野大学 令和5年度「福祉の仕事」社会福祉の現場-貧困・低所得者の福祉- 1人
 - ・令和5年12月11日(月)(オンライン)

大阪府社協 「令和5年度 地域福祉のコーディネータースキルアップ研修」
専門研修Ⅲ・応用②（学び合い） 講師

・令和6年2月1日（木）

東御市民まちづくり会議 「生きづらさを抱える当事者の声を聴く会」 パネリスト

・令和6年2月4日（日）

令和5年度「人と猫の問題について考えるフォーラム」登壇者

・令和6年2月18日（日）



<日本地域福祉学会・地域福祉優秀実践賞>



<多頭飼育にかかわる課題解決とチーム支援>

(5) 視察受入

○大阪府社会福祉協議会 1人

・令和5年4月19日（水）

4. 苦情対応

・苦情受付状況 苦情受付件数 3件

・苦情対応システム研修会

令和5年10月30日（月） 職員4名、第三者委員2名出席

5. 連絡調整事業

(1) 民生児童委員協議会との協働

○地域福祉事業の周知・啓発・事業に関する協力

○福祉活動に対する助成金の交付

・福祉委員（民生児童委員）活動費 81名 405,000円

・生活福祉資金実費弁償 75名 225,000円

○理事会・地区民協定例会・全体会への出席

(2) 社協法人会員の皆様へ社協事業に対する情報提供

○社協広報紙の送付

II 総合相談、支援事業の推進

1. 初期相談の対応及び専門的・継続的な総合相談支援

◆東御市社会福祉協議会として、各部門で初期相談対応・継続的な総合相談を行った。詳細は、各相談事業の箇所を参照

◆「医療・介護・福祉の無料相談会」・「人権よろず相談」への協力

- ・東御市主催「医療・介護・福祉の無料相談会」：計60回
- ・東御市子どもフェスティバルにて、相談ブースの開所
- ・東御市主催「人権よろず相談会」：計12回

◆「年末屋台村(お振舞)」の開催

- ・日時：令和5年12月17日(日)
- ・場所：総合福祉センター 3階 講堂

まいさぼ相談者・特例貸付免除者を中心に餅と豚汁の振舞を行いました。調理や配膳には地域のボランティアやまいさぼ相談者にも協力いただきました。相談ブースも設け生活相談や貸付についての相談も行いました。

・来場者 110名 ・相談者 4名 ・ボランティア 29名

◆「まちかど なんでも相談会&音楽カフェ」

- ・日時：令和6年3月2日(土)
- ・場所：東御市文化会館サンテラスホール

全市民を対象に食料配布を兼ねて相談会を開催しました。当日は、地域の相談、子どもの相談、動物の相談、法律の相談等多岐に対応できるよう東御市福祉課、市民課、子どもサポートセンターにも協力いただきました。また、予約制で無料の司法書士の法律相談も行いました。ライオンズクラブや地域のこども食堂、ボランティア団体等にもご協力いただき、軽食や遊び場など気軽に参加できる相談会になりました。

・来場者 176名 ・相談者 14名 ・食料配布 42件

◆長野県社会福祉協議会による「若者サポートプロジェクトどこでも実家宣言」に参加。



＜まちかどなんでも
相談会&音楽カフェ＞

2. 生活困窮者自立支援事業（東御市生活就労センター「まいさぼ東御」）

(1) 自立相談支援事業（市委託事業）

11,400,000円

生活困窮者自立支援法に基づき、生活に困窮している、今後その恐れのある方の総合的な相談窓口を東御市から受託し運営しました。10代の若者から高齢者まで幅広い年齢層の生活課題を受け止め、「家計改善支援事業」・「就労準備支援事業」・「子どもの学習・生活支援事業」・「アウトリーチ支援事業」・「居場所づくり」・「仕事・生活サポーター」・「食料支援事業」・「就労体験等協力事業所との連携」などを活用し、生活や就労面の自立と課題の改善・解決に取り組みました。



多様な生活課題解決に向け、行政のあらゆる部署と事業者や市民をネットワーク化して、官民協働の地域づくりに取り組みました。

一方、長年にわたり課題が解決できない事例、数年にわたりつながり続けている事例、「困難事例」で世帯全体が複雑な課題を抱えている事例への対応にあたり、支援体制の強化と、若者や引きこもりの人や長期離職者など、生活・就労・社会面の自立支援について、更なる取組みの強化が課題です。

<相談件数> *相談員：5人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規相談件数	84件	71件	179件	110件	78件	75件
継続支援件数	延639件	延807件	延1,264件	延2,003件	延2,126件	延1,787件
プラン作成件数	49件	59件	40件	36件	40件	35件
相談対応件数	延3,202回	延5,044回	延7,284回	延7,348回	延5,984回	延5,113回

<新規相談件数の年齢構成>

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
令和5年	7	10	8	11	17	12	10	0	75
令和4年	4	11	12	15	9	11	16	0	78

<法に基づく制度の利用>

制度を利用した実件数（複数の制度利用あり）

※（）は、自立相談支援事業のプラン作成に利用を定めた件数

制 度	件 数	左記の件数のうち 自立プラン作成の件数
住居確保給付金	0	0
家計改善支援事業	30 (5)	8
就労準備支援事業	19 (10)	4
認定就労訓練事業	1	1
自立相談支援事業による就労支援	25	25
生活保護受給者等就労自立促進事業	4	4

<プラン作成者の状況>

状 況	件 数	状 況	件 数
経済的困窮	21	コミュニケーションが苦手	9
その他メンタルヘルスの問題	17	就職活動困難	8
家族関係・家族の問題	15	社会的孤立（ニート・引きこもりを含む）	8
病気	13	就職定着困難	8
本人の能力の課題	11	障害（手帳有）	8

<生活・就労支援に関する実績>

○就労者数

	就労者数	製造	農業	サービス	小売	医療・福祉	清掃	運輸	産業廃棄	その他
令和5年	19	3	0	3	2	7	0	1	2	1
令和4年	25	7	3	1	3	1	2	1	0	7

○プチバイト（就職活動応援金付職場体験事業）

体験者数	農業	製造	福祉
4人	2	1	1

○就労支援プロジェクト(旧緊急就労支援事業)

令和4年10月から長野県社会福祉協議会が運営する「長野県あんしん未来創造センター」が主体となり、就労支援プロジェクトが創設されました。事業内容は、生活困窮者自立支援法における自立相談支援機関の相談者を対象に体験研修型(1か月60時間以内、1時間800円を対象者に支給)、直接雇用型(2か月間の給料2/3を事業所に助成)の2つの型があります。本事業を活用し就労体験や、雇用促進を支援しました。

・延利用者数 9人（体験研修型 6件 直接雇用型 3件）

利用者実人数	農業	製造	福祉	小売店	清掃
6人	2	1	1	1	1

○身元保証・就労支援事業

利用者数：0件、契約締結事業所：0件

○入居保証・生活支援事業

利用者数：6件、契約締結家主：2件

(2) 家計改善支援事業（市委託事業）

2,430,000円

相談者が単身又は母子世帯や障がい・高齢者世帯等で低収入、コロナによる離職、体調不良による離職、多額の債務、税金や家賃の滞納等、複合的な課題を抱える世帯の相談に対応しました。本事業で家計表の作成をして、収支のバランスを一緒に確認し、課題の見える化を図り、借入金の債務整理を弁護士につないだり、市役所へ同行し滞納している税金の調整を行いました。収入増の方法、支出減につながる助言や支援を行い、相談者の家計管理の意欲を引き出す支援を行い生活の再建ができるように取り組んできました。

<利用件数と利用による改善状況>

○利用件数（プラン作成件数） 5件

年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
男	0	1	0	0	0	0	0	1
女	0	1	0	0	0	2	1	4

○支援状況 利用人数 27人 78件（プランの作成者以外も含む 複数カウント）

支援内容	件数	支援内容	件数
家計プラン作成	5	滞納交渉	税金
相談時家計表の作成	17		家賃
			4
			5

キャッシュフロー表の作成	0		公共料金	4
生活福祉資金貸付	2	債務整理	弁護士	9
日常生活自立支援事業	3		司法書士	2
食料支援の利用	18		消費生活センター	8
住居確保給付金	0	生活保護につなぐ		1

○支援による改善の状況 (利用人数 27 人のうち、改善状況を複数カウント)

内 容	件数	内 容	件数
自身の家計の現状把握	20	自立意欲の向上・改善	6
生活不安の解消	11	生活習慣改善	4
支出費目の優先順位位置付け	8	家計管理の重要性の認識	4
家計の範囲内での支出	14	生活の安定	5
将来の収支変化の見通し	1	対人関係・家族関係の改善	5

(3) 子どもの学習・生活支援事業 (市委託事業)

247, 104 円

小学生の学習習慣の習得のほか、高校受検や、大学受験のための学力をつけたいというニーズが多く、2名の相談者が受験し、合格できました。学習方法でオンラインを希望した相談者には、ZOOMのミーティング機能を活用し、対応しました。

<利用件数>

利用者数	実施日数	実施時間	支援員数
9名	72日	144時間	7名

<結果・改善状況>

支援結果・経過	件数
家庭生活習慣の習得	3
高校・大学受験の学習	3
学校生活の定着	1
自己有用感や自信をつける	4

(4) 就労準備支援事業 (市委託事業)

1, 200, 000 円

「くる me ここから」という愛称で、個々の就労への準備期間を支援するために、日常生活自立、社会生活自立、就労自立、の3つの自立段階を踏まえたプログラムを実施してきました。働いて収入を得るという目標だけでなく、居場所や仲間づくり、さらには地域とのつながりを構築しながら、「わたしらしくはたらく」ことが実現できる場として取り組んできました。

<実施状況> 実施期間：令和5年4月～令和6年3月

項目	数字	備考
集団プログラム実施回数・延人数	24回・139人	月2回の定例プログラム・参加者数

地域行事への参加回数・延人数	6回・25人	市内開催の行事にチームで参加
個別プログラム実施回数・実人数	6回・3人	希望者に対して適宜実施
仕事・生活サポーター等ボランティアの協力	48回・4人	伴走支援でプログラムに同席
家族の参加（見学）	2回・2人	参加者の見守り等
就労につながった人数	5人	一般就労3人、就労継続支援B型事業所1人、就労移行支援1人
見学・体験就労につながった人数	3人	体験先は主に協力事業所

<利用者状況> *初回参加時の年齢

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合計
男性	2	5	0	2	1	1	11
女性	0	4	2	0	1	1	8
合計	2	9	2	2	2	2	19

<個別支援計画>

計画作成：4名 評価作成：2名

<実施プログラム> 第1・第3木曜日、1回2時間程度、計24回

*人数はメンバーのみ

	開催日	人数	プログラム *講師等の協力有
1	4/6	6	「初回オリエンテーション&セルフチェック」（前半） 「春を感じよう クリーンさんぽ or フォトさんぽ」（後半）
2	4/20	5	「お話会 命ってなんだろう。人はなぜ生きるのだろうか。」*
3	5/11	5	「私のこれまでのワークライフ」*
4	5/18	7	「ことだまカフェ～世界にひとつ、オリジナル言葉集をつくろう～」*
5	6/1	4	「激闘！うどん TRPGⅢ～そして丸亀へ～」
6	6/22	2	「職場見学会～ものづくりの仕事とは～」*
7	7/6	4	「hot 一息 茶話会」
8	7/20	6	「気づきのワーク 『価値観』」
9	8/3	4	「『ここから』ビジョンボード制作①」
10	8/17	3	「『ここから』ビジョンボード制作②」
11	9/7	7	「その悩み、案外大丈夫！」*
12	9/21	5	「自分の身体を取り戻そう！～背筋を伸ばすエクササイズ～」*
13	10/5	6	「そうだ！ハローワークへ行ってみよう！」*
14	10/19	7	「職場の人と安心してコミュニケーションができる SST レッスン」
15	11/2	6	「アンガーマネジメント超入門」
16	11/16	6	「くる meeting～想いをシェア～」

17	12/7	10	「お話会 統合失調症と歩んでいる人生」*
18	12/21	7	「心ぼかぼか クリスマス会」*
19	1/11	9	「新年行事 書初めで令和6年のわたしをONしよう!」*
20	12/8	5	「書初めで令和6年のわたしをONしよう! 裏打作業」*
21	2/1	4	「会社訪問～社長の声を聴こう!はたらく姿をみよう～」*
22	2/15	8	「テーマを決めて私を語ろう!!準備編」
23	3/14	6	「テーマを決めて私を語ろう!!本番」
24	3/28	7	「くるme ここから 感謝の会」

<地域行事等への参加> チームで計6回参加

	開催日	人数	行事名
1	7/30	3	「スケッチ大会&アートチャレンジWS」準備
2	9/9	4	「スケッチ大会&アートチャレンジWS」
3	10/2	4	「第17回 福祉の森ふれあいフェスティバル」
4	12/1	5	「くるme & 年末屋台村」
5	1/27	5	「巨大紙相撲大会ワークショップ」
6	2/23	4	「巨大紙相撲大会」

(5) 認定就労訓練事業の推進

1件の利用実績(60代女性)がありました。社会福祉法人が就労訓練事業所として受け入れをし、約半年間、認定就労訓練期間を経て、一般就労へと移行しました。

利用件数	認定就労訓練事業所	期間	一般就労への移行
1件	社会福祉法人	約半年	同法人で一般就労に移行

(6) アウトリーチ支援事業(市委託事業)

3,590,000円

地域のなかで困りごとを抱えているが支援機関等につながない、社会的孤立の状態である方を対象に訪問支援等を行いました。初期相談の中では本人に繋がる前段階での家族支援から行いました。

また、電話・来所での相談がしづらい人や難しい人が、相談につながりやすくなるように、LINEによる相談「まいさぼ東御 ひきこもり・孤立相談窓口」を開設しました。

<利用件数>

年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	合計
男	1	3	2	5	5	3	1	20
女	1	1	0	2	1	0	0	5
合計	2	4	2	7	6	3	1	25

<支援状況>

本人と面談	家族支援	関係者との共有	就労・中断
12	8	2	8

3. 生活困難・困窮者への支援

(1) 生活支援の貸付相談件数 延 279 件

○生活資金貸付総件数 (市社協扱い)

◆生活資金(助け合い資金) 21件 460,000円

貸付まで至った件数は昨年より減少しましたが、貸付を希望される相談者は増加傾向にあります。債務の返済、生計維持できる収入が無い等の相談については、まいさぼ東御や消費生活センター等と連携を図り、生活の立て直しに向けた支援を行いました。

○生活福祉資金貸付件数 (県社協扱い)

◆福祉資金 1件 908,000円

◆教育支援資金 1件 546,000円

(2) 緊急小口資金等の特例貸付実施後の相談支援体制強化事業 (県社協受託)

特例貸付償還免除世帯や償還困難世帯を対象に、今後の生活の立て直しに向けた生活相談を、まいさぼ東御と連携しながら行いました。償還をすることが困難な世帯に対して、生活福祉資金特例貸付管理事務センターと連携し、償還免除もしくは猶予申請の為の相談を、行いました。

- ・生活相談延人数 142人
- ・償還相談延人数 91人

(3) 生活困窮者への緊急食料支援の実施 (共同募金広域配分事業)

令和4年12月1日より、多くの食料支援ニーズに対応するため、長野県フードサポートセンター(長野県社会福祉協議会が長野県から受託)が創設されました。これまでのフードバンク信州(ななせ仲まち園)の食料支援に加えて、生鮮食品を含む食料支援を実施したり、フードバンク活動の普及や啓発等を行う事業として創設されました。

○長野県フードサポートセンター

支援者	支援世帯数	延支援回数
長野県フードサポートセンター	13	45

○食料支援事業 (フードサポートとうみの縁)

令和4年度から独自事業として実施しました。利用者は前年度より188人減少しました。収入が低く増収が見込めず生活保護に近い人や、収入がほとんどなく住宅ローン等のために生活保護が受けられない人なども利用しました。

また、新たな取り組みとして、「年末屋台村」「なんでも相談会」を行い相談と食料支援をセットで行いました。

◆利用者延人数 596人（昨年：784人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5. 1月	2月	3月	合計
人数	57	65	58	53	53	47	40	48	50	35	44	46	596

◆寄付受付者延人数 193人（昨年：181人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5. 1月	2月	3月	合計
人数	9	16	5	17	18	15	21	28	27	9	16	12	193

寄付受付団体数 延10団体（昨年：13団体）

◆食料在庫量（寄付）

食料重量…2,326 kg

米…2,419 kg

事業管理の簡易化のため、令和4年11月から寄付食品のみの重量管理にしました。

◆食料品購入金額（寄付金） 29,673円

◆精米金額 19,200円（9回）

◆長野県フードバンク活動団体連絡協議会 1回

◆「日常生活用品等の緊急支援事業」（長野県社協） 2世帯

◆県社協「広域フードパントリーむすびや」の利用 3回

（4）仕事・生活サポーター事業

自立相談支援事業の相談者やその子どもに、オーダーメイドの支援をするために、市民に支援員（サポーター）登録をしてもらい、就労準備支援事業のサポーターとして活躍していただきました。



<仕事・生活サポーター>

○実績数

利用者数	利用回数	サポーター数	支援内容	孤立防止	生活・社会自立 意欲喚起	就労自立 意欲喚起
5人	45回	3人		5人	5人	4人

（5）協力事業所登録・就労体験・見学

職場見学・就労体験・プチバイト・認定就労訓練について協力する事業所を募り、パンフレットにしました。

○協力企業数…35か所（令和4年度：32か所）

農業	医療・福祉	食品・製造	警備	環境整備	その他
14	5	9	2	2	3

○協力内容（協力事業所以外の事業所も含む）

協力事業所は、就労見学・体験・プチバイト・就労支援プロジェクト・認定就労訓練について協力してもらいました。

()は令和4年度件数

職場見学・体験	プチバイト	就労支援 プロジェクト	認定就労訓練事業
7 (15)	3 (0)	3 (4)	1 (0)

○働きづらさを抱える人の就労支援に関する会議

就労において「自信がない」「ブランクがある」「仕事を継続できるかわからない」等の働きづらさを抱える人に対する支援を、行政、企業、社協等が企画、協議し新たな就労支援を行っていくために、各関係機関に呼びかける会議を開催しました。

開催日	令和5年8月29日	令和6年3月8日
内容	<ul style="list-style-type: none"> 各機関の課題の共有 上田市と合同で協力事業のパンフレットを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットの進捗状況と活用方法について 意見交換
参加者数	11人	16人

(6) 身寄りのない人・単身者の人の支援（共同募金広域配分事業）

まいさぼ東御や各種相談機関には、身寄りのない人、身寄りがあっても支援が受けられない人、単身で長年にわたり生活をしている人は、多くの課題を抱えて来所します。東御市福祉課と連携し、当事者グループ「は一べすとのかい」の活動支援と東御市における「身寄り問題」の取組み推進に向けて福祉課と協議の準備を進めました。

また、「は一べすとのかい」は、「東御市子どもの居場所づくり事業（くるmeふらす）」の子どもたちと畑づくり（愛称「くるmeファーム」）に取り組み、子どもの居場所づくりの屋外活動の支援を行いました。

(7) 無料職業紹介による就労支援

長野労働局と協議を行い、令和6年度の上半期に無料職業紹介所の登録・開所ができるよう準備を行いました。

(8) 多頭飼育にかかわる課題解決とチーム支援

動物の多頭飼育により、生活環境や地域住民との関係性について課題を抱えている世帯や人の支援を進めるために、保健所、動物愛護センター、NPO法人、行政の担当課、長野県社協などと、「チームTAG」を結成し、多頭飼育問題にかかわる人や関係機関同士が学びと情報交換と発信のため定例会や研修会を開催しました。

4. 権利擁護事業の推進

(1) 日常生活自立支援事業

高齢者や障がいがあり判断能力が不十分な方々にとっても、東御市で安心して自立した生活を送れるように、福祉サービスの利用に関わる相談などの援助を行いました。近年、福祉などの関係機関からの問い合わせや相談が多く、相談内容が複雑化しているケースもあり、日常生活自立支援事業の相談から成年後見制度へ繋ぐケースも増えています。

専門員：5人 生活支援員：5人

◆相談件数 延 2,149 件（新規・既契約含む）

専門員訪問調査回数	利用援助回数	ケース検討会議	書類等預かり件数
延 408 回	延 801 回	延 64 回	24 人 123 件

◆実利用者数 28 人

	認知症	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
新規	0	0	1	0	1
解約	0	1	0	1	2
総件数	6	10	8	4	28

*新規契約件数 1 件、解約件数 2 件（うち成年後見人支援へ変更 1 件）

*現契約者数 26 人(令和 6 年 3 月 31 日現在)

(2) 金銭管理、財産保全サービス事業(市社協扱い)

実利用者数 2 人

*現契約者数 2 人(令和 6 年 3 月 31 日現在)

(3) 成年後見制度の啓発・相談支援

◆上小圏域成年後見支援センター運営委員・小委員会委員として参画し、上小圏域成年後見支援センターの活動に協力しました。

◆日常生活自立支援事業や生活困窮者自立支援事業において、成年後見制度の相談や制度につなげました。

成年後見制度の初回相談	成年後見制度への移行相談
6 件	1 件

5. 結婚相談事業の推進

372,466 円

結婚を希望する未婚の男女に対して、在住地や在勤地を問わず、広域的な結婚支援活動を通して、各種相談の受け付け及びお見合いの場の設定等を行いました。

(1) 相談状況 相談員 5 人

・相談日 毎週日曜日 午前 9 時～正午

・相談場所 中央公民館 学習室

開催日数	相談件数	相談登録者数	お見合い件数	結婚成立件数
47 日	延 81 件	205 人 (男性 161 人、女性 44 人)	18 件	1 件

(2) 東御市結婚活動支援実行委員会

・結婚相談員と社協事務局担当者が実行委員として参加

	開催日	内容
第 1 回 委員会	令和 5 年 7 月 25 日	これまでの取り組み・令和 5 年度の活動について
第 2 回 委員会	令和 5 年 10 月 20 日	10 月 28 日イベント内容の確認・検討について

イベント	令和5年10月28日	男女20人でのお見合いイベント 東御市内の飲食店において実施
第3回委員会	令和6年2月29日	令和5年度活動報告・次年度について

(3) 4市町村結婚相談員連絡会事業（東御市、長和町、青木村、立科町）

- ・4市町村との結婚相談員連絡会及び情報交換会
年間12回 参加相談員（東御市） 延54人
- ・ときめきパーティ（イベント）
令和5年9月10日、男女28人での婚活パーティーを開催。
進行：NPO法人新潟婚カツ応援団カクーン田原先生
内容：ミニゲーム、自己紹介タイム、昼食ほか

III 地域福祉活動

1. 地域ささえあい活動の支援・推進

(1) おらほの地域福祉づくり事業（共同募金配分金） 428,800 円

地域の課題に対して、地域役員が主導し、地域住民が主体となって解決する仕組みづくりを応援するため、計 14 支部に助成金を交付すると共に、各種相談に応じました。

<新規支部> 7 支部 210,000 円 (1 支部 3 万円) ※申請日順

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
王子平	新規	災害時支えあい台帳づくり
東深井	新規	地域の絆を深める活動
田之尻	新規	地域の困りごと調べ
中屋敷	新規	支えあいマップづくり
大日向	新規	地域の見守り活動
出場	新規	支えあいマップづくり
栗林	新規	地域の見守り活動

<継続支部 2 年目> 3 支部 90,000 円 (1 支部 3 万円) ※申請日順

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
金井	2 年目	地域の絆を深める活動
日向が丘	2 年目	地域の見守り活動
常田	2 年目	災害時支えあい台帳づくり

<継続支部 3 年目> 4 支部 120,000 円 (1 支部 3 万円) ※申請日順

支部	取り組み状況	取り組みメニュー
片羽	3 年目	支えあいマップづくり
西宮	3 年目	災害時支えあい台帳づくり
海善寺北	3 年目	地域の見守り活動
桜井	3 年目	いきいきサロンの活性化

(2) 支部福祉活動の支援

① 支部福祉活動助成金の交付 67 支部 1,885,000 円

② 地区別地域福祉懇談会 77,970 円

支部長・福祉運営委員長等、支部福祉活動に関する地域役員等を対象として、地区別に福祉懇談会を開催し、各種情報提供のほか、支部ごとの懇談を図りました。



<地域福祉懇談会>

- 内容
- ・社会福祉協議会の事業について
 - ・地域福祉活動の推進について
 - ・講演「私たちが大切にしたい未来の東御のまちづくり
～150年後につなげる暮らしのバトンをフューチャー・デザインで考える～」
講師 信州大学 経法学部 井上信宏 氏
 - ・地域の福祉活動を考えるワークショップ
※社協及び福祉課、地域づくり支援室、同支援員等がワークに参加。

地区	日にち	場所	参加人数
滋野	2月16日	滋野コミュニティセンター	34人
祢津	2月19日	総合福祉センター	29人
和	2月21日	和コミュニティセンター	43人
北御牧	2月26日	北御牧公民館	38人
田中	2月27日	中央公民館	41人
合計			185人

- ③ いきいきサロン等助成事業 693,960円
各支部で行うサロン活動に助成を行いました。新型コロナウイルスの5類移行を受け、今年度は活発的な取り組みが展開されました。

- ・実施支部 34支部 ・総参加者 6,582人

事業	会食会	茶会	世代間交流	福祉新聞の発行	講演・講習会
回数	100回	173回	6回	20回	3回
参加者数	2,270人	2,982人	190人	856部	
事業	課題調査	福祉施設訪問	食事サービス	ふれあい訪問	
回数	1回	0回	2回	22回	
参加者数	102戸		57人	1,083人	

④ 地域活動援助講座

サロンを運営する福祉運営委員やボランティアを対象に、サロンで活用できる料理講習会を開催しました。新型コロナウイルスが5類に移行したが、引き続き感染予防を考慮して持ち帰りの対応にしました。参加者からは簡単で美味しくできると好評でした。

- いきいきサロンのための料理講習会 2回

- ・対象者 各区福祉運営委員
- ・講師 東御市食生活改善推進協議会会員



<いきいきサロンのための料理講習会>

期 日	テーマ	参加者
7月12日(水)	じゃがいもで手軽に作れるおやつとひんやり一品&お饅頭 ～いもち東御市バージョン・じゃがいもと夏野菜のサラダ寄せ・ うさぎまんじゅう～	10人
2月7日(水)	冬の食材を使った手軽なおやつ作り ～バラのアップルパイ・チョコ蒸しパン・ツナ入り山芋ステーキ～	12人

⑤ 地域の絆づくり支援事業

- ・レクリエーション用品の貸し出し
ハンドベル、お手玉、輪投げ等ゲーム用具等 177件

⑥ 地域への出前講座 38回

昨年度まで各支部で開催するサロンが感染予防を考慮して中止とする例が多かったが、サロンの再開と共に出前講座の依頼が増えました。

講 座	回数	講 座	回数
介護予防体操（レクリエーション）	5回	エンディングノート	0回
認知症講座	2回	レクリエーション等補助	2回
介護保険の上手な使い方	4回	ようこそ！社協	0回
ポッチャ体験	25回	その他	0回

(3) 福祉のまちづくり講座「とうみ男の遊び塾」

47,233円

男性のコミュニティづくりを支援し、地域における役割や生きがいをづくりを支援するため、様々なテーマのもとに集えるサロンを開催しました。

	開催日	参加人数	内容
第1回	9月18日	6人	男の草木染塾
イベント参加	10月28日	11人	福祉の森ふれあいフェスティバルへのボランティア参加
第2回	11月30日	9人	男の刺繍塾
第3回	1月25日	7人	男のバルーンアート塾
イベント参加	3月2日	2日間 延14人	何でも相談会&カフェへのボランティア参加
第4回	3月21日	8人	男の魚さばき塾



〈とうみ男の遊び塾〉

(4) シニア生き方講座（終活セミナー）

日 時 令和6年3月8日（金）

場 所 東御市総合福祉センター3階 研修室

内 容 ①終活ってなに？ ～エンディングノートの書き方～

講師 社会福祉協議会職員

②いざという時に ～介護サービスのい・ろ・は～

講師 社会福祉協議会職員

参加者 15人

(5) 介護講座「あった介護教室」

日 時 令和6年3月23日（土）

場 所 総合福祉センター3階 講堂

内 容

腰を守るための介護姿勢のコツと腰痛予防体操

講師 公益財団法人身体教育医学研究所

理学療法士 半田 秀一 氏

参加者 24人



<あった介護教室>

(6) 福祉自動車貸し出しサービス事業

460,069円

・登録者 利用会員数 91人

・利用延回数 158回（内、福祉移送ボランティア12回）

(7) 福祉用具貸与事業

324,763円

貸出物品	備品台数	利用件数
介護用ベッド	67	68
車椅子	64	※143
マットレス・エアマット	67	68
ポータブルトイレ	64	55
その他（歩行器等）	22	14
合 計	284	348

※車いすの利用件数の内、61件は短期間の貸出件数

(8) 生活支援コーディネーター事業

東御市からの委託を受け、生活支援コーディネーターを配置し、地域福祉活動の推進及び福祉課題や潜在的なニーズの発掘に取り組みました。

① 東御市生活支援協議体会議の開催及び運営（開催：計3回）

〔第1回〕日時：令和5年7月28日（金）

内容：「令和4年度の振り返り、東御市の地域支援の状況・施策について」

〔第2回〕日時：令和5年10月18日（水）

内容：「移動販売・買い物課題について、地域の安否確認の現状について」

〔第3回〕日時：令和6年2月22日（木）

内容：「高齢者のごみ捨てについて」

- ② 通いの場・通所型サービスの支援（出席等：計8回）
- ・地域包括支援センターが開く「通いの場・通所型サービスについての関係者研修会」へ定期参加。関係者と市内でのサービス提供・立ち上げ等について協議。（6回）
 - ・住民主体によるサービスの継続的な担い手を育成するための「介護予防住民指導者養成講座」へ参加。（2回）
- ③ 行政区等、既存の組織による地域（福祉）活動への支援（相談対応等：計351回）
- ※主にいきいきサロン等の住民の交流の場づくり、災害時の支えあい体制づくり、安否確認体制づくりに関する相談等の受付状況。
 - ・区が主体で実施する福祉活動に関する相談・支援（来所・電話326回）
 - ・区が主体で実施する福祉活動に関する会議等への出席（17回）
 - ・地区単位の地域づくり組織が主催する会議・打ち合わせ・イベント等への出席（11回）
- ④ 個別訪問及び個別ケースへの支援（対応等：計193回）
- 社協事業を通じた対応等を含めた個別訪問・個別ケースへの対応状況
- ・社協事業（寝具洗濯乾燥サービス事業等）の訪問機会における個別訪問（176回）
 - ※訪問の際には「社協等の相談体制に関するご案内資料」を配布。生活支援コーディネーターについても紹介し、周知啓発も実施。
 - ・訪問ケースへの対応（17回）
 - ※地域の課題として把握された個別ケースに対して、関係者と協力し対応したケース等。
- ⑤ その他、①～④に属さないものの、コーディネーターとして対応したケース（12回）
- 交流の場・居場所づくり等の一環として「男性の料理サロン」、「とうみ男の遊び塾」、「はーべすとの会（身寄りのない单身者の団体）」などの運営を企画・支援。
- ⑥ 近隣市町村の生活支援コーディネーターとの交流・研修会
- 上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町、立科町の生活支援コーディネーター（一層及び二層）が参加する交流・研修会への参加・企画
- ・6月29日 hinatabocco とよさと（上田市）
「地域の移動支援及びボランティア活動について」
 - ・12月12日 古町コミュニティーセンター山カフェ（長和町）
「地域コミュニティ活動の支援について」

2. 子どもの居場所づくり事業

(1) 地域生活課題解決に向けた地域づくり・ネットワークづくり・グループ支援

子どもだれでも居場所づくり事業 通称：「くる me」（市委託事業） 250,000円

市内社会福祉法人と公益財団法人の協働により、各種相談機関など関係機関が声掛けを行い、世代を超えて、親子や青年から高齢者、学生、市民ボランティアが協働し、誰もが役割を持ち、自己肯定感や人とのつながりを創出し、安心できる居場所づくりを行いました。スタッフについては、通年で関わってくれている長野大学ボランティアの他に、新たに佐久大学看護学部からもボランティアの参加がありました。

昨年度までと違い、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや、参加者も居場所以外の活動の選択ができる状況になってきたこと等もあり、参加者の構成は固定化・減

少傾向にあります。また、母子世帯の参加者の場合、子どもだけが参加する家庭が増え、関わるスタッフの数により活動が左右されてしまう一面もあり、人員の確保や参加方法などが今後の課題です。

○活動実績

実施日	全参加人数	スタッフ	大人	子ども	世帯数	場所	内容
4月23日	53	16	13	24	14	芸術むら公園 テニスコート	自然のなかで遊ぼう！
5月28日	66	27	13	26	16	芸術むら公園	カヤック、外遊び
6月25日	65	27	12	26	16	芸術むら公園	カヤック、外遊び
7月30日	62	26	10	26	13	芸術むら公園	カヤック、外遊び
8月11日	32	13	5	14	7	新張の里山	里山探検・ウォータースライダー・ ドラム缶風呂・調理体験
8月27日	47	26	5	16	8	芸術むら公園	カヤック・外遊び
9月24日	49	25	6	18	9	芸術むら公園	カヤック、外遊び
10月22日	27	11	5	11	7	芸術むら公園	自然のなかで遊ぼう！
11月26日	31	16	4	11	8	総合福祉センター	長野大学ボランティア企画（シルエ ットクイズ）・公園で遊ぼう！
12月17日	48	18	11	19	13	総合福祉センター	お振舞い（豚汁と餅の提供） 公園で遊ぼう！
1月28日	23	11	3	9	6	総合福祉センター	室内遊び・公園で遊ぼう！
2月25日	35	11	7	17	11	北御牧公民館	餡菓子作り
3月24日	25	11	4	10	7	東御市中央公民館	カレー大作戦！ （調理体験）・外遊び
合計	563	238	98	227	135		

(2) 東御市子どもの居場所づくり事業 くるme ぷらす (市委託事業) 1,500,000円

令和4年度より、市の委託を受け、東御市社協が主体となり開催しました。子どもサポートセンター・東御市社協・福祉課などで、支援を必要とする子どもやその世帯に声をかけて活動しました。立ち上げ時は4世帯だった参加者は、回を追うごとにニーズのある世帯が増え、多いときで10世帯、20人ほどが参加しました。

活動の内容は、学習・歓談に加え、毎回多彩なプログラムを提供し、子どもの主体性を大切に、参加者が安心できる、役割を担える等に配慮しています。

○会場：東御市総合福祉センター

○期間：令和5年4月～令和6年3月（毎週水曜日）

○開催回数：48回

○開催時間：午後3時～午後7時

月	回数	世帯数	低学年	高学年	中学生	高校生	保護者	ボランティア	支援員	合計
4	4	36	14	39	6	0	19	25	26	129
5	4	34	17	32	1	0	8	15	21	94
6	4	30	12	30	0	0	8	21	21	92
7	4	27	11	26	0	0	10	25	23	95
8	5	35	15	32	0	0	15	42	22	126
9	4	31	13	28	0	0	10	32	22	105
10	4	28	8	28	0	0	7	23	17	83
11	5	32	12	31	0	0	9	20	23	95
12	3	22	8	25	0	0	6	14	12	65
1	4	28	9	32	0	2	8	11	16	78
2	4	29	10	32	0	0	7	20	16	85
3	3	22	10	25	0	0	4	16	9	64
計	48	354	139	360	7	2	111	264	228	1,111

○主な活動実績

- ・子どもたちからの相談、学習支援、手話教室、点字教室
- ・調理体験（カップケーキ、おはぎ、クレープ、かぼちゃのおやつ、アイシングクッキー、じゃがいものおやつ）
- ・福祉センター周辺での遊び、中央公園での遊び、体育館での活動、ダンス教室、カブトムシ採り
- ・農作業体験（愛称：「くる me ファーム」・「はーべすととの会」との協働）、収穫物の販売体験（巨峰の王国まつり）、収穫祭、焼き芋大会、
- ・制作活動（ジェルサンドアート）、ボッチャ体験、クリスマス会、こども会議、おやつパーティー



<子ども誰でも居場所くる me>



<くる me ぷらす (はーべすととの会) >

(3) 東御市支援対象児童等見守り強化事業（市受託事業）

3,090,000 円

① 事業の概要

対象は、地域社会から孤立の傾向にある子育て家庭や妊娠・子育てに不安感を持つ家庭等の子どもや妊婦です。子育て支援サポーター養成講座を修了し、見守り支援員に登録した見守り支援員は、家庭や地域の居場所等へ定期的に訪問をします。子どもと家庭の状況把握や困りごとの相談に応じて、公的支援への橋渡しを行い、早期に適切な支援につなげました。

② 見守り支援員及びボランティアの養成

社会福祉協議会主催の子育て支援ボランティア養成講座 2月8日(火) 20名参加

◎ボランティアグループ及び子育て支援ボランティア養成講座受講生に、東御市が主催する子育て見守りサポーター研修の受講を呼びかけました。

見守り支援員とは他に子育て支援に関するボランティアを随時要請及び募集。

※他に YouTube による視聴覚研修随時紹介人材育成につなげました。

③ 令和5年度見守り支援員登録者数

登録者 31名 ※支援員としての活動者 17人

④ 見守り支援員活動状況

見守り支援員は、イベント・研修会での託児、学校に出向いた学習支援や家庭訪問等で、子どもや保護者の様子や生活状況の確認、相談や傾聴等を行う中で必要に応じ様々な関係機関と連携をして、安心して生活が送れるように支援を進めました。

支援方法	支援活動内容
訪問による活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の生活になじめない世帯への訪問。 ・経済的支援を受けている対象世帯への見守り、相談等による訪問。 ・親子関係がうまく築けていないケースの対応や子どもの体調確認や家庭での過ごし方等を家庭ではなく(学校・保育園)への訪問を通じ、生活全般の様子を聞き取る中で、子ども及び家庭での様子を確認。 <p>◎経済的に支援が必要な世帯に訪問時 2,000 円程度の食料等の生活支援物品を支給</p>
滞在による確認	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会や、講座、イベントに伴う託児等の対応。 ・相談業務開催に伴う託児 ・当事者組織の研修会に伴う託児 ・その他児童のケガ(骨折)に伴う見守り支援
学習支援 学校での滞在活動	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学級児童生徒の見守り及び学習補助 ・担当教諭と連携した見守り支援活動 ・学校生活の意欲向上に向けた取り組み

※見守り支援員活動は、1ケースにつき2時間を限度として報酬が支払われます。

訪問型1ケース 2,000円 滞在型1ケース 1,500円

見守り支援員実績(令和5年10月～令和6年3月)

支援方法	回数	報酬	物品購入費
滞 在	121回	211,500円	
訪 問	55回	102,000円	65,283円
学 習	24回	36,000円	
合 計	200回	349,500円	65,283円



<支援対象児童見守り強化事業>

3. 共同募金配分事業

1. 高齢者への活動

1, 279, 918 円

(1) ひとり暮らし高齢者の福祉サービス

○おせち料理

市内の飲食店に調理委託したおせち料理を、民生児童委員に把握していただいた対象世帯へ、民生児童委員の手渡しにより配布することで、年末の安否確認及びつながりを感じられる地域づくり活動の一助として実施しました。

- ・期 日 令和5年12月30日(土)
- ・訪 問 担当民生児童委員 延 56人
- ・対象者

一人暮らし 高齢者	高齢者 世帯	障がい者 独居世帯	障がい者 世帯	父子家庭	合 計
109人	9世帯 (18食)	9世帯	4世帯 (8食)	2世帯 (6食)	133世帯 (150食)

(2) 敬老祝賀事業

○金婚祝賀

東御市と東御市シニアクラブ連合会で主催（共催：東御市社会福祉協議会）する金婚祝賀式典において、祝品（慶祝状の額）を贈呈しました。

- ・金婚祝賀式典 令和5年9月15日(木)
- ・該当者 18組
- ・会 場 サンテラスホール



<金婚祝賀式>

○敬老祝賀

市内の米寿、白寿を迎える高齢者を対象に、敬老祝品（寝具またはタオル）を贈呈しました。贈呈については、訪問を希望する対象者には市長と社協会長が訪問させていただき、その他の方は民生児童委員に協力を依頼し贈呈しました。

- ・対象者 合計 251人（米寿祝220人・白寿祝31人）
- ・祝賀訪問56人 令和5年9月20日(水)～21日(木)

2. 障がい者への活動

280, 440 円

(1) 第20回障がい者福祉のつどい

12月3日～12月9日の「障がい者週間」の啓発期間に併せ、市内の関係機関・団体で実行委員会を組織し、障がい児者の抱える諸課題について啓発を行いました。

- ・日 時 令和5年11月23日(木・祝) 午後1時30分～午後3時30分
- ・会 場 中央公民館3階 講堂
- ・参加者 福祉団体関係者、来賓等 97人
- ・内 容 ◆ アトラクション
 - ・今日から使える手話を覚えよう
 - ・手話で届けよう
 - ～懐かしの唄を手話にのせて～
 - 出演 東御市手話サークルの皆さん



<障がい者福祉のつどい>

◆ 当事者ディスカッション

- ・テーマ「障がいがあってもなくても、東御で暮らすということ」
- 事例① 関係者・ボランティアと共に進めた家の片付け
- 事例② 仕事・家計の困難を乗り越えて…「おうち時間が至福の時」

(2) 障がい者社会参加支援事業助成

地域における障がい児者への理解を深め、運動・スポーツを通して障がい児者の社会参加を推進する活動に取り組む『みんなの健康×スポーツ実行委員会（事務局：公益財団法人身体教育医学研究所）』に助成金を交付しました。ボッチャのクラブ活動を中心に取り組みました。

- ① 笹川スポーツ財団「チャレンジデー2023in 東御」におけるパラスポーツの普及啓発
開催期間 令和5年5月31日（水）
場 所 東御市中央公園第二体育館
参加者 120人（スタッフ含む）
内 容 パラスポーツ体験（ボッチャ・スポーツ用車椅子体験）
- ② ユニバーサルスポーツの場づくり「わくわくスポーツ」への支援
開催期間 令和5年5月～令和6年1月（8回）
場 所 東御市中央公園第二体育館、東御市中央公民館、総合福祉センター2階
参加者 414人（スタッフ含む）
内 容 『ボッチャ』を中心とした活動
- ③ ボッチャ審判等スキルアップ研修
開催期間 令和5年9月16日（土）
場 所 東御市中央公園第一体育館及び第二体育館
参加者 22名
内 容 地域でのボッチャの試合を円滑に進行するための知識や心得の確認等
- ④ とうみボッチャリーグ戦
開催期間 令和5年10月～令和6年1月（4回）
場 所 東御市中央公園第一体育館
参加者 8チーム 延120人
内 容 シーズン型のボッチャリーグの開催
- ⑤ 東御市総合体育大会ボッチャ競技開催支援
開催日 令和5年10月14日（土）
場 所 東御市中央公園第二体育館
参加者 24チーム 延130名
- ⑥ とうみボッチャ2024
開催日 令和6年2月17日（土）
場 所 東御市中央公園第一体育館
参加者 226名
内 容 ボッチャの体験会及び競技と交流に分かれての大会
- ⑦ パラスポーツ体験会
開催期間 令和6年3月5日（火）
場 所 東御市立滋野小学校体育館
参加者 東御市立滋野小学校5学年37名
内 容 ゲーム体験を含むスポーツ用車椅子利用講習会

3. ボランティア活動

376,100 円

(1) ボランティア連絡協議会・ボランティア団体活動補助金(21 団体)の交付

市内のボランティア団体 36 団体・個人ボランティア 21 名が登録している東御市ボランティア連絡協議会の運営経費補助金 60,000 円と、同協議会に登録し、社会福祉協議会の推進するボランティアの啓発活動を協働して取り組む 21 団体に 15,000 円の補助金を交付しました。

(2) 男性の料理サロン「楽ちん・しあわせごはん」4 回及びイベント参加

男性に対して社会参加の機会・きっかけを提供すること、また家庭内での役割を担うきっかけ作りとしていただくことを目的に、料理サロンを開催しました。

開催日	テーマ	参加者
8 月 19 日	トマト酢だれの冷しゃぶ冷やし中華 ほか	13 人
10 月 14 日	たこと青葉の炊き込みご飯 ほか	7 人
10 月 28 日	福祉の森ふれあいフェスティバルへの参加	6 人
12 月 9 日	手打ちそば ほか	12 人
2 月 10 日	オムライス ほか	8 人



<男性の料理サロン>

4. 児童・青少年への活動

1,003,055 円

(1) ひとり親家庭交流支援事業

ひとり親世帯を対象に、親子間及び家庭間の交流を深める為、交流ツアーを実施しました。

- ・期 日 令和 5 年 12 月 2 日 (土)
- ・場 所 東京ディズニーランド
- ・参加者 17 世帯 大人 17 人 子ども 21 人 (合計 39 人)
- ・内 容 バス内でのレクリエーション、テーマパーク内での交流

(2) 福祉協力校の指定、活動助成 (8 校)

市内の小中学校・高校 8 校を対象に、社会福祉への理解と関心を高めるとともに、社会への奉仕や連帯の精神を養う等、福祉教育の推進を図ることを目的として助成金を交付しました。 ※実績については福祉教育分野に別掲。

5. 社会福祉の啓発

2,536,559 円

(1) 社協報「ほほえみ」

(ボランティア情報「かわら版」含) の発行

- ・発行回数 年 6 回 奇数月の 1 日発行
- ・発行部数 10,800 部
- ・編集委員 1 人



<社協報 (ほほえみ) >

(2) 啓発パンフレットの作成、配布

・「社協のしおり」420冊

(3) ホームページ、フェイスブックでの情報発信

[ホームページアドレス URL <http://www.tomisyakyo.or.jp>]

(4) 介護の日・福祉講演会の開催

厚生労働省が介護課題を啓発する為に設けた「介護の日」に併せて、介護の日・福祉講演会を開催しました。

- ・期 日 令和5年11月12日(日)
- ・場 所 総合福祉センター3階 講堂
- ・参加者 43人
- ・内 容

◆講 演

「健康づくりは生きがいづくり・地域づくり」

講師 長野県立大学大学院 健康栄養科学研究科
准教授 今村 晴彦 氏



<介護の日・福祉講演会>

6. ふれあい交流サロン

438,392円

(1) ふれあい交流サロン “おいでよサンサン”

高齢者の生きがいづくりを目的に開催しました。月毎の開催に加え、3月には「お出かけサンサン」として音楽イベントを開催、年13回の開催となりました。

- ・開催回数 合計13回
- ・参加者数 延142人(男:19人・女:123人)

7. おらほの地域福祉づくり事業の推進(再掲)

428,800円

事業内容については、17頁参照

IV 福祉教育、ボランティア活動の推進

1. 福祉教育の推進

福祉協力校として指定した市内の小中学校・高校で取り組んだ福祉教育実践活動は下記のとおりです。各校ともに、福祉施設等との交流や福祉体験学習などに取り組みました。



<福祉体験学習>

<活動内容>

学校名	内 容
田中小	赤い羽根共同募金、能登半島地震の募金、ボッチャ体験学習、人権講演会、学年・学級によるSDGsの学習、目の不自由な方の生活の工夫について授業
滋野小	障がい者との交流、車いす体験、アイマスク体験、ユニセフ募金・赤い羽根募金、書き損じ等不要官製はがき収集、レインボー祭り
祢津小	手話体験、車いす体験、赤い羽根募金、米づくりでの交流、特別支援学級との交流 ネットタイムでの地域の方々との交流、清掃活動、保育園との交流、ハーモニックとの交流
和 小	こいのぼり交流（和保育園との交流）、草刈り（6学年） 地域の方との交流（全校）
北御牧小	車いすツインバスケット体験、ケアポートみまきとの交流、ボッチャ体験 アイマスク体験・対話鑑賞、ボッチャ体験、赤い羽根共同募金、 北御牧中学校特別支援学級との交流学习、ストラップづくり
東部中	道の駅清掃ボランティアへの参加、アジアの子供に絵本を、ベルマーク収集 ふれあいフェスティバル参加、赤い羽根共同募金
北御牧中	ケアポートみまきでの認知症講座、ボッチャ体験、高齢者疑似体験、能登半島地震募金 ケアポートみまきでの障がい者についての体験、赤い羽根募金、地域活動（交流活動）
東御清翔高	「生活と福祉」出前講座、ブラインドテーブルテニス体験、「えほんのくに」 河川生物研究、子どもげんき塾、福祉の森ふれあいフェスティバル

<福祉体験学習>

学校名	実施回数	講師	ボランティア	延人数	内 容
田中小	1回	0名	6名	84名	ボッチャ
滋野小	4回	6名	14名	184名	車いす体験、対話型鑑賞体験、手話体験、点字体験
祢津小	2回	4名	5名	79名	手話体験、車いす体験
北御牧小	5回	8名	17名	173名	車いすツインバスケット体験、対話鑑賞体験 手話体験、点字体験
北御牧中	2回	0名	12名	50名	高齢者疑似体験、ボッチャ体験
東御清翔高	5回	1名	0名	67名	生活と福祉、防災、キャリア教育、対話鑑賞 体験

合計	19回	19名	54名	637名	
----	-----	-----	-----	------	--

2. ボランティア活動の推進

(1) ボランティアに関する登録・相談・情報提供・調整の状況

- ・ボランティア団体登録(者)数 69 団体(3,163 人)
- ・くるみの里ボランティアバンク(個人ボランティア)登録者数 82 人
- ・相談者数 2,811 人
(来所 1,298 人・電話 705 人・メール 210 人・訪問 56 人・その他 542 人)
- ・相談件数 ボランティア依頼・受付・相談等 延 6,597 件
- ・ボランティア相談・依頼件数 音訳・点訳・施設ボラ、出前講座等 延 1,301 件

(2) ボランティア活動保険の補助

- ・加入者数 基本プラン 20 人
天災プラン 15 人
感染プラン 304 人
- ※保険料補助 天災プラン 15 人(社協補助 200 円) 3,000 円
感染プラン 257 人(社協負担 250 円) 64,250 円
感染プラン 38 人(社協負担 550 円) 20,900 円

(3) ボランティア連絡協議会の活動支援

ボランティア連絡協議会と協働し、ボランティア団体の交流を図り、ボランティアの普及啓発に取り組みました。

① 楽しく交流する会 (障がい者とボランティアの交流会)

- ・期 日 令和 5 年 6 月 27 日 (火)
- ・場 所 孺恋鹿沢休暇村
- ・参加者 58 名 (職員 2 名含む)
- ・内 容 参加者同士の交流会、ボッチャなどのレクリエーション

② ボランティアセンター研修会

- ・期 日 令和 6 年 3 月 24 日 (日)
- ・場 所 東御市総合福祉センター3 階講堂
- ・内 容 高校生、大学生と交流をしながらスマホの基本的な使い方やビデオ通話などの操作を学ぶ
- ・参加者 19 名

(4) 上小ブロックボランティアフォーラム

- ・期 日 令和 5 年 12 月 3 日 (日)
- ・場 所 東御市総合福祉センター3 階
- ・参加者 98 名 (東御市から 42 人参加)
- ・当番社協 東御市社会福祉協議会
- ・内 容 テーマ「地域共生社会の実現に向けて、子どもを中心とした地域づくりの活動に取り組んでいる実践事例を学ぶ。」

実践発表

- ① 「通学合宿、子どもふれあい塾について」
しげの里づくりの会青少年育成部会
- ② 「ほっと安心できる居場所づくり」
上田おけまーるジュニアセンター 小林みゆき 氏
- ③ 「あったかい地域の居場所「武石えんカフェ」」
武石えん結びの会 依田由枝 氏
- ④ 「attala(アッタラ)フラワープロジェクトへの道のり」
里の暮らしを楽しむ会 阿部由紀子 氏
コメンテーター 佐久大学准教授 長谷川武史 氏
・グループワーク

(5) 長野県まちづくり・ボランティアフォーラム 2023

- ・期 日 令和5年12月1日(金)～12月2日(土)
- ・場 所 諏訪市文化センター他
- ・参加者 周知のみ
- ・内 容 第1部「ずくとあいがつくる居場所」
第2部「明日につながる入口」
分科会「簡単ルールでポッチャ体験リーグ戦」他5分科会

3. ボランティアの養成、研修

(1) 夏のボランティア体験教室(サマーチャレンジボランティア)

- ・期 日 令和5年8月8日(火)
- ・場 所 東御市総合福祉センター3階研修室
及びイオンスタイル上田
- ・参加者 21人
- ・内 容 「人と動物が仲良く暮らす」をテーマに、
ボランティアや専門職(獣医師、保健所、
ハローアニマル、市役所、福祉の相談員)
と一緒に学ぶ。



<サマーチャレンジボランティア>

(2) 手話ボランティアスキルアップ講習会 4回

- ・期 日 令和5年10月9日(月) 午前・午後各1回…充実コース
令和6年1月13日(土) 午前・午後各1回…初心者コース
- ・場 所 総合福祉センター1階ボランティアルーム1・2
- ・内 容 充実コース2回、初心者コース2回
- ・参加者 延 16人
- ・講 師 長野県聴覚障害者協会登録講師 矢野 吉江 氏
本木 理恵 氏

(3) 音訳ボランティア養成セミナー 3回

- ・期 日 令和6年2月5日(月)・13日(火)・19日(月)
- ・場 所 東御市総合福祉センター3階研修室他

- ・参加者 延 16人
- ・講師 元SBCアナウンサー 池田知可子氏
音訳利用者 両角雪弥氏

(4) 音訳スキルアップ講習会 4回

- ・期 日 令和5年11月13日(月)・27日(月)
令和5年12月5日(火)・19日(火)
- ・場 所 東御市中央公民館2階学習室5
- ・参加者 延 26人
- ・内 容 朗読技術向上
- ・講師 元SBCアナウンサー 池田知可子氏

(5) 災害ボランティア養成講座

58,924円

- ・期 日 令和6年3月9日(土)
- ・場 所 中央公民館 講堂
- ・参加者 89人
- ・内 容
講座テーマ「地域の防災を考える住民セミナー」
 - 講演「地域共生社会と被災地支援」
講師：村岡裕氏(石川県・(福)佛子園専務理事)
・被災現地における社会福祉法人の被災状況と、
復旧・支援活動の様子から、日頃の備えの必要性を学びました。
 - ワークショップ「災害のために地域でできる備えとは？
～“ひと”から考える防災活動～」
進行：防災担当職員(社会福祉協議会)



<災害ボランティア養成講座>

(6) ボッチャサポーター養成講座

- ・期 日 令和5年7月29日(土)、8月19日(土)
- ・場 所 東御市ふれあい体育館、東御市中央公園第二体育館
- ・参加者 延 28人
- ・内 容 ボッチャの基本と市内ボッチャ活動への支援

4. 第17回福祉の森ふれあいフェスティバル

400,000円

- ・期 日 令和5年10月28日(土)
- ・会 場 東御市総合福祉センター
- ・参加者 参加総数1,500人(協力団体 50団体 ボランティア 212人)
- ・内 容
 - ① 福祉体験コーナーの設置
(手話、点訳、車イス体験等)
 - ② 障がい者施設の作品を展示・販売、設置
 - ③ ボランティア団体の活動発表(展示・体験・舞台)
 - ④ ふれあいミニコンサート・ふれあいコンサート



<福祉の森ふれあいフェスティバル>

- ⑤ 福祉協力校（市内小中学校）で取り組む福祉体験学習の紹介
- ⑥ 被災地支援バザー

5. 福祉施設ボランティア担当者連絡会議

- ・期 日 令和5年5月23日（火）
- ・場 所 東御市総合福祉センター3階研修室
- ・参加者 8名
- ・内 容 ボランティア受け入れ状況と課題の把握

6. ボランティアセンター運営委員会の開催

- ・期 日 令和5年8月25日（金）
- ・場 所 東御市中央公民館2階 学習室8
- ・参加者 7人
- ・内 容 ボランティアセンターの現況と今後の課題について

V 在宅福祉サービス・支援事業

1. 高齢者支援

- (1) 介護予防事業の運営（市受託） 7,598,592円

高齢者の閉じこもり・認知症・うつ予防等、要介護状態の予防を目的に、ミニデイサービス及び筋トレ事業を市から受託して取り組みました。

介護予防事業	利用実人員	延利用者	実施数	一日平均
ミニデイサービス（火）～（金）	29人	991人	203回	4.9人
筋トレ教室（月）	21人	463人	50回	9.3人

- (2) 高齢者安否確認事業（市受託） 6,001円

市の利用決定を受けた介護サービスの提供等を受けていない安否確認が必要な一人暮らし高齢者宅に、福祉運営委員等の協力をいただき、定期的に野菜ジュースを届けて安否確認を行いました。

- ・1支部 利用者実人数 2人
- ・訪問活動者実人数 2人
- ・配布本数 105本

- (3) 寝具洗濯乾燥サービス事業（市受託） 606,765円

概ね70歳以上の高齢者の単身世帯と高齢者世帯等で、寝具類の衛生管理が困難な世帯を対象に、寝具類の洗濯乾燥サービスを実施しました。

- ・実施回数 2回（6月・11月）
- ・利用実人数 56人
- ・利用者数 延88人
- ・利用枚数 169枚
- ・対象者 高齢・障がいなどの理由により寝具の衛生管理が困難な方

- (4) 在宅介護者リフレッシュ事業（市受託） 251,521円

在宅で要介護高齢者を介護している家族を対象に、心身のリフレッシュ（元気回復）を目的に、介護者相互の交流機会を提供しました。感染予防対策を講じての実施となりました。

- ・実施回数 3回
- ・内容 健康相談、健康体操、介護者交流、元気回復等

実施日	場所	参加者
令和5年7月6日（木）	蓼科高原 ・バラクライングリッシュガーデン（英国庭園散策） ・音無の湯（昼食・入浴）	6人
令和5年11月7日（火）	小布施 ・北斎館（美術鑑賞） ・蔵部、えんとつ（昼食・喫茶） ・あけびの湯（入浴）	8人

令和6年3月1日(金)	長野市 ・善光寺、兄部坊(ガイドツアー、昼食) ・まきばの湯(入浴)	9人
-------------	--	----

(5) 寝たきり高齢者希望の旅事業(市補助) 235,004円

日ごろの外出機会が十分ではない高齢者及びその家族に対する外出支援と参加者同士の交流を目的として、車いす等でも安心して参加できる旅行を実施しました。

- ・期 日 令和5年6月30日(金)
- ・行 先 大町市、安曇野市
サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場(工場見学)
豊科ばんどこ(昼食)、大王わさび農場(散策)
- ・参加者
高齢者10名+家族介護者1名+
介助ボランティア10名+職員2名
計23人



<寝たきり高齢者希望の旅>

(6) 家族介護者サロン“太陽の会”交流会

介護者同士の交流の場を設けて、介護者の負担の軽減を図るため交流会を行いました。感染予防対策を講じての実施となりました。

- ・期 日 令和5年5月17日(水)、9月20日(水)、令和6年1月17日(水)
- ・会 場 総合福祉センター3階研修室、そえるcafé(昼食)
- ・参加者 延24人

2. 障がい者支援

(1) 重度障がい者希望の旅事業(市補助) 318,327円

重度障がい者を対象に、外出機会の確保を目的として、誰もが安心して参加できる旅行を実施しました。

- ・期 日 令和5年11月18日(土)
- ・場 所 群馬県 ・だるまのふるさと大門屋(絵付け体験)
・うどん茶屋水沢万葉亭(昼食) ・めんたいパーク群馬
- ・参加者 障がい(児)者9名+家族介護者3名+
介助ボランティア8名+職員2名 計22人

(2) 視覚障がい者への音訳、点訳サービス支援 462,000円

文字による情報入手が困難な視覚障がい者を対象に、市の広報誌や社協報等の音訳・点訳をボランティアの協力を得て実施しました。

利用者 8人

- ・音訳・・・市報、市報お知らせ版、社協報、他
- ・点訳・・・生涯学習カレンダー、選挙公報、社協報、他

VI 介護保険事業

1. 居宅介護支援事業

市から介護予防支援・介護予防ケアマネジメント支援事業の一部を受託するとともに、要支援認定を受けられた方も、要介護認定を受けられた方も、各種のサービスなどを利用しながら自宅でその人らしい生活ができるよう、本人、家族等に寄り添い、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成しました。令和5年5月よりコロナ感染症は5類移行しましたが、インフルエンザの流行、コロナ感染症の感染状況が続き、常に感染予防の対策を徹底しながら業務にあたりました。

また、広域連合からの介護認定調査の受託や、地域包括支援センターからの対応困難ケースの受け入れにも積極的に取り組みました。今年度は介護支援専門員実習生も受け入れ、各種研修についてはオンラインも利用しながら自己研鑽に努めました。

○ケアマネージャー人数 5人 ○利用総数 1,984件

<活動状況>

業 務	介護	介護予防 介護予防ケアマネジメント	計
ケアプラン作成総件数（給付管理件数）	1,868件	116件	1,984件
モニタリング訪問件数	2,048件	43件	2,091件
要介護認定調査（広域連合から）	32件	0件	32件
担当者会議開催件数	268件	14件	282件
アセスメント実施件数	268件	14件	282件
事例検討実施件数	7件	0件	7件
対応困難ケース受け入れ件数	10件	0件	10件

<月別居宅サービス計画（ケアプラン）延作成件数>

		令和4年度実績	令和5年度実績	増減
延作成件数	介護	1,722件	1,868件	146件
	介護予防	99件	116件	17件
月平均	介護	143.5件	155.6件	12.1件
	介護予防	8.2件	9.7件	1.5件

○要介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和5年度	139	150	143	156	156	156	162	163	157	155	158	173	1,868
令和4年度	146	142	144	146	144	145	146	145	144	140	137	143	1,722

○要支援 介護予防支援・介護予防支援ケアマネジメント支援

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
令和5年度	11	12	12	11	11	9	9	9	9	8	7	8	116
令和4年度	6	6	6	7	8	9	9	9	9	10	10	10	99

<介護度別ケアプラン作成件数>

○要介護

介護度	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
件数	790	557	232	176	113	1,868
月平均	65.8	46.4	19.1	14.7	9.5	155.5

○要支援

介護度	支援 1	支援 2	計
件数	62	54	116
月平均	5.2	4.5	9.7

<研修実績>

月	研 修 内 容 (外部)
5 月	・ケアマネネット 事例検討
6 月	・多職種連携会議 東御市の介護状況・在宅医療・サービスについて ・介護予防ケアプランの基本 ・ケアマネネット 事例検討
7 月	・相続・遺言・委任・後見 成年後見制度について ・ケアマネネット 事例検討・他事業所間交流
8 月	・地域ケア推進会議 地域包括ケアシステムにおける課題・人生会議のススメについて ・ケアマネネット 防災訓練・災害本部の立ち上げ訓練
9 月	・ケアマネネット 精神疾患の方の支援と医療連携・サービス導入 ・災害時ケアプランの作成 誰も取り残さない防災に向けた取り組み ・感染症および食中毒の発生・まん延防止について
10 月	・ケアマネネット プラン点検前研修 ・多職種連携会議 在宅生活におけるヘルパー業務について ・苦情システム研修 苦情解決の基本的姿勢と組織体制
11 月	・重層的支援体制整備事業従事者研修 ・介護支援専門員におけるリスクマネジメント
12 月	・医療介護同時改定の方向性と社協の運営について ・ケアマネネット ケアプラン点検の振り返り
1 月	・ケアマネネット 他法人交流会 ・人権研修 福祉でまちづくり

2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネネット 難病疾患の方の支援と介護医療給付について ・介護保険制度改正研修 ・実務研修者受け入れ協力事業所指導者研修 ・認定調査員研修（上田広域） ・地域ケア推進会議 東御市版人生ノート・人生会議の普及・啓発について ・キャラバンメイトスキルアップ研修 ・オンライン研修 認定調査員現任研修（県）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネネット 令和6年度の研修について ・ケアポートみまき合同研修 介護保険改正について

<その他の活動>

- ・東御市民間事業所連絡協議会への参加
- ・広報誌「ほほえみ」へのコラム掲載
- ・認知症初期集中支援チーム会議への参加
- ・出前講座（介護保険の上手な使い方・認知症って何だろう）対応

VII その他の福祉活動支援

1. 長野県共同募金会東御市共同募金委員会事業

社会福祉法人長野県共同募金会の東御市共同募金委員会を組織し、協働して募金活動等に取り組みました。

(1) 赤い羽根イベント・募金活動

○街頭募金・イベント募金等の実施(原則、各日職員2人及びボランティアにより実施)

実施日		場 所	
10月1日	道の駅 雷電くるみの里	10月2日	ベイシア東御店
10月3日	デリシア東御店	10月4日	ナナーズ東御店
10月5日	やおふく東御店	10月11日	デリシア東御店
10月12日	しなの鉄道田中駅	10月13日	ベイシア東御店
10月14日	道の駅 雷電くるみの里	10月15日	道の駅 雷電くるみの里
10月17日	やおふく東御店	10月18日	しなの鉄道 田中駅
10月20日	ナナーズ東御店	10月21日	道の駅 雷電くるみの里

○戸別募金・・・行政区ごと支部長へ依頼

○学校での赤い羽根募金の取り組み 市内小中学校6校へ依頼

○職域募金の依頼

東御市役所職員、信州うえだ農協職員、
東御市社協職員等

○東御市振興公社 温泉施設へ募金箱設置の依頼

○市内大手スーパー店頭等へ募金箱設置の依頼

○市内企業へ企業募金の依頼

○自動販売機募金

道の駅「雷電くるみの里」、総合福祉センター



<赤い羽根共同募金(火のアートフェスティバル)>

(2) 赤い羽根、歳末助け合い共同募金収納結果

◎令和5年度赤い羽根募金収納総額

5,564,135円

<募金別内訳>

募金の種類	金 額	内 訳
戸別募金	5,055,922	5,551戸
街頭募金	122,171	計14回実施
法人募金	95,000	16法人
学校募金	28,230	市内5校
職域募金	50,327	東御市、社協、JA信州うえだ東御支所
イベント募金	55,650	火のアート、福祉の森フェスほか
個人募金	780	
その他	156,055	募金箱、繰越金、利子等
収納総額	5,564,135	

(3) 共同募金会からの配分事業

令和5年度の市社協の地域福祉事業へ配分実績 4,413,843円

(令和4年度の収納額6,155,843円の実績から、東御市への配分金)

<事業別配分内訳>

事業	金額	事業	金額
高齢者	884,000	その他	2,575,843
障害児・者	230,000	合計	4,413,843
児童・青少年	724,000		

(4) 災害見舞金

・令和5年度の見舞金案はありませんでした。

2. 日本赤十字社長野県支部東御市地区事業

(1) 赤十字奉仕団総会

- ・期 日 令和5年4月25日(火)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 3階 講堂
- ・内 容 令和4年度東御市赤十字奉仕団事業報告及び決算報告について
令和5年度東御市赤十字奉仕団事業計画及び予算について

(2) 日赤活動資金募集会議

- ・期 日 令和5年4月25日(火)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 3階 講堂
- ・内 容 日赤活動資金募集に係る事務説明

(3) 日赤活動資金募集総額 ・ 支援者数 5,277人 ・ 寄付者 66人 3,784,797円

(4) 健康生活支援講習会

- ・期 日 令和5年9月6日(水)
- ・場 所 東御市総合福祉センター 3階 講堂
- ・内 容 災害時における生活支援



<生活支援講習会>

(5) 一日赤十字(救急法講習会)

・中止

(6) 日赤奉仕団視察研修会

・中止

(7) 災害見舞

・住宅火災 0件

3. 被災者義援金・海外救援金

(1) ウクライナ人道危機救援金 (令和4年3月2日～受付中)

令和5年度	4件	588,109円
(令和3年度からの累計)	48件	2,179,433円

(2) 2023 トルコ・シリア地震救援金 (令和5年2月9日～令和5年5月31日)

令和5年度	0件	0円
(令和4年度からの累計)	5件	202,144円

(3) 令和6年度能登半島地震災害義援金 (令和6年1月4日～受付中)

令和5年度	69件	2,586,104円
-------	-----	------------

4. 社会福祉団体活動の支援

(1) 東御市福祉団体長会議

- ・日 時 令和5年4月17日(月)
- ・会 場 東御市総合福祉センター
- ・参加者 市内福祉団体(7団体)の会長及び社協・行政関係者
- ・内 容 令和5年度の団体に関わる事業についての協議及び補助金に関する連絡等

(2) 福祉団体交流会(ポッチャ) 40,570円

福祉団体会員相互の交流及び情報交換の場の提供及びユニバーサルスポーツを通じた「誰もが幸せを感じられるまちづくり」の推進を目指し、ポッチャ競技を通じた交流会を実施しました。

- ・日 時 令和5年6月5日(月)
- ・会 場 東御市第2体育館
- ・参加者 福祉団体関係者、審判員、来賓等 115人
- ・内 容 体操、ポッチャ、表彰式ほか交流

(3) 福祉団体活動補助金 1,250,000円

○身体障害者福祉協会	320,000円
○手をつなぐ育成会	120,000円
○シニアクラブ連合会	100,000円
○遺族会	530,000円
○更生保護女性会	60,000円
○保護司会	120,000円
合 計	1,250,000円

(4) 障がい者福祉のつどい実行委員会

- ・第1回 9月4日 総合福祉センター 「障がい者福祉のつどいの内容について」
- ・第2回 12月4日 「障がい者福祉のつどいの振り返りについて」
- 会 場 東御市総合福祉センター
- 構成員 市内福祉団体(7団体)の会長